

しば子先生の

ミニミニ芝生教室

先生：みなさんはじめまして、私は芝生の授業を受け持つしば子です。皆様のお役に立つお話ができるようにがんばりますのでよろしくお願いいたします。

生徒：先生、こちらこそよろしくお願ひいたします。早速ですが、これから暑くなるとドライスポットが心配だと思うんですけどどうしてドライスポットが発生するのでしょうか？

先生：暑い季節はドライスポットは芝生の大敵ですね・・・でもドライスポットを単純な現象として考えてしまってはいけません。ドライスポット＝浸透剤と考えがちですが、浸透剤がすべてを解決してくれるわけではありません。ドライスポットの原因と浸透剤の機能をきちんと理解する必要がありますね。

生徒：土壤が乾燥したからドライスポットじゃないんですか・・・単純に考えていました・・・

先生：確かに乾燥は重要な条件だけど、さまざまな条件が重なって「ドライスポット」という症状が現れるのよ・・・一番大きな問題は「疎水性土壤」が作られてしまうことね・・・それ以外にも、芝生の根が浅いことや土壤中の水の浸透の偏りや有機物量の増加による排水不良、散水の不均一、そして養分不足、農薬の使いすぎなど・・・芝生が暑さに耐えるのに必要な水を根から十分に吸い上げられなくなればそれが「ドライスポット」の症状・・・

生徒：そうなんですか・・・浸透剤をまけば解決だと思ってたんですが・・・

先生：もちろん浸透剤は重要な役割を果たすわよ。浸透剤といっても今はさまざまな商品が出てくるけど、大きくその機能で大別すると、1つは「水の表面張力をなくして水の分子を速やかに土壤に浸透させる」タイプ、二つ目は「水をはじく疎水性土壤粒子に付着して土壤粒子の代わりに水分子を根圏に保持するタイプ」の浸透剤。これを一般



第1回 ドライスポットって？



的に「ドライスポット用」と呼んでるわね。でも最近の研究では両方のタイプを混合することにより効果が上がるという研究成果も出てきているみたい。

生徒：一番の原因の「疎水性土壤」を詳しく教えてくれませんか？ただ乾燥したということじゃないんですか？

先生：本来土壤粒子は水の分子を引き付けて集める力があるんだけど、土壤中の有機物が分解してできる「腐植酸」が土壤粒子を被覆して水の分子をはじいてしまう状況になるの、それが「疎水性土壤」・・・そうすると土壤中に水が蓄えられなくなるので芝生が生育できなくなるのよ・・・水が蓄えられないということは養分も蓄えられなくなるので大変なことになるわ・・・ドライスポット用浸透剤はその疎水性土壤粒子にまわり着いて、代わりに水の分子を集める働きをするの・・・でも浸透剤の成分も土壤微生物によって分解されるので定期的に使用しないとイケないわ。それに乾燥する時期の前から使うことも重要よ。

生徒：先生、ということは有機物の多い土壤は疎水性土壤になりやすいんですか？

先生：そうなるわね・・・スポーツターフの土壤に有機物は利点より悪い事のほうが多いと思うわ。年間を通じて土壤の物理性、化学性の正しい維持ときちんとした養分管理をしなければ、根が健全に維持されないの、たとえ良い浸透剤を使っても芝生は暑さに耐えられなくなるから、総合的な正しい科学的判断が常に必要不可欠だわね。

最新型浸透剤 **ポセイドン** **新発売**

最新の浸透剤技術である、「トリブロックコポリマー」を配合した最新型浸透剤。同時に成長ホルモンであるサイトカイニンとオーキシンを配合しているのを根の成長維持にも効果がある。トリブロックコポリマーは水分子の保持だけでなく土壤中の空気中の水分子の保持も改善することができ、土壤中の水管理の総合的な改善を可能とした新時代の浸透剤。

荷姿：18.93L 価格：62,000円
使用量：1.2～1.8cc/㎡

トリブロックコポリマー分子